

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 話や文章の種類とその特徴について読み取る力がついている。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができています。
- 筋道を立てて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

【算 数】

- 整数や小数についての計算力が身に付いている。
- 面積や体積を求める問題など測定領域の理解ができています。
- 数と計算領域で数直線を使った問題の理解に課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 友達関係が良好で、学級の居心地のよさを感じている児童の割合が非常に高い。
- 問題に対して分からないときは、あきらめずに色々な方法を考える力が身に付いている。
- SNSや動画視聴の1日あたりの時間が長い傾向にある。
- タブレットで文章を作成することを得意とする児童の割合が少ない。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 自己選択、自己決定を取り入れたICTを活用した反復学習
- ・ 全校での授業改善の推進(40分を意識した単元構成・学習過程の工夫)

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 多様なものの見方、考え方ができる授業づくり
- ・ 算数科における少人数指導の実施

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 児童会活動や裁量的な学習の時間等の「やるキッズタイム」における主体的な活動の場の設定
- ・ 様々な学習の時間において、主体的・探究的な学習を意識した授業改善

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 予習を取り入れた宿題を必要に応じて取り入れる。
- ・ 学習したことが生活のどのような場面で活用できるのか考える場を設ける。